

平成 23 年度研修委員会開催のご挨拶



研修副委員長 釜谷彰郎

この度、平成 23 年度研修委員会の副委員長を拝命しました。小林委員長、盛山副委員長の挨拶にも述べられているように、研修委員会は改訂された定款に記載された事業の内の 3 項目を担当する常設委員会として 2 年前に発足しました。2 期目となり成果を明確にすべき今期に、要職に就任した責任を強く感じています。

私は近畿本部に所属し、平成 23 年度役員選挙において繊維部会の推薦を受け理事に、そして研修委員会副委員長に就任しました。理事会同様、研修委員会におきましても私以外のメンバーの方は統括本部での部会長や各委員などの要職を経験されておられます。統括本部の活動が全く無い者がいくら頑張ってもそう簡単に追いつくことはできません。むしろ皆さんと異なる経験や、外部から見た視線を活かす事ができないかと思っています。

現在は近畿本部ですが、今まで中部本部、東北本部、統括本部に所属してきました。その経験がどう活かせるか、役に立つのかはわかりませんが、少なくとも私の見方は地域本部から視点が基本となります。

3 名の部会長など経験豊かな研修委員会メンバー、更には同じ組織内の CPD 実行委員会、修習技術者支援実行委員会、及び青年技術士交流実行委員会の方々からも、まずはしっかり学び、現状を的確に認識した後も、外部視線を忘れる事なく、少しでも新しい風を吹かす事が出来ればと思っています。

上記実行委員会には、地域本部所属の委員もおられます。私の立場は地域本部を代表するものではありませんが、地域との連携にプラスになるような事があれば、パイプ役の手伝いをするのも重要な役目だと認識しています。

研修委員会発足から基礎固めに努力された小林委員長、岡田副委員長はじめ、前期からの継続委員の方々のご指導のもと、新しく参加された委員、関係者の皆様の協力を得て、新たに作成された今期の活動目標に向かって、確実に成果を上げて行きますので、ご支援の程よろしく申し上げます。

以 上